

亀山御坊お彼岸ご案内

九月二十一日から二十五日まで五日間、例年通り、お彼岸の行事を勤めます。彼岸とは此岸に対するものです。そう此岸はこの苦楽に明け暮れる娑婆の世界、われわれの日常です。

われわれはこの世界で修行をして、生老病死を体験させて頂いて、やがて、迷いの「私」を捨てて浄土のさとりにいたりしますが、そのことに気付く人は希です。

仏様に、終生、問題とされ、目覚めてくれと願われていた「私」の本性と向かいあった時、浄土真宗の「法」の世界が始まります。

本徳寺有縁の皆様方に、左記仏縁のご案内を申し上げます。

なお、二十一日は午後一時の勤行後、住職による由緒法話があります。

九月二十二日から二十五日

午前七時半 正信偈勤行引き続き説教

午前十時 門信徒勤行引き続き説教

午後一時 彼岸会勤行引き続き説教

布教使 光顔寺 松島法城師

●御坊の晨朝勤行へのご案内

亀山本徳寺では毎日、朝七時過ぎに、お晨朝がつとまります。常時は近傍の方が参加されますが、土日には遠方からもこられます。本願寺と同じように、正信偈六首引・繰り読みです。本堂のお勤めの後、蓮如堂で讃仏偈をお勤めし、最後にご法話があります。朝のお勤めはなかなか清々しいものです。お誘い合わせの上ご参加下さい。

●本堂管理型納骨壇のご案内

従来、播州の真宗門徒は遺骨を本徳寺の廟所に納めていました。近年、大谷本廟への納骨が可能になりましたが、三百年来の伝統で、今も播州一円から御坊納骨が続いています。近年、家族形態の変化に伴い個別の管理納骨のご要望が多くなりました。そのような要望にこたえて従来の浄華堂の他に新たに本堂奥に管理式納骨壇を新設いたしました。ご希望あるいはご関心のある方は左記本徳寺寺務所までご相談ください。(管理冥加は四十五万から百八十万円)



亀山本徳寺 寺務所 (079-235-0242)